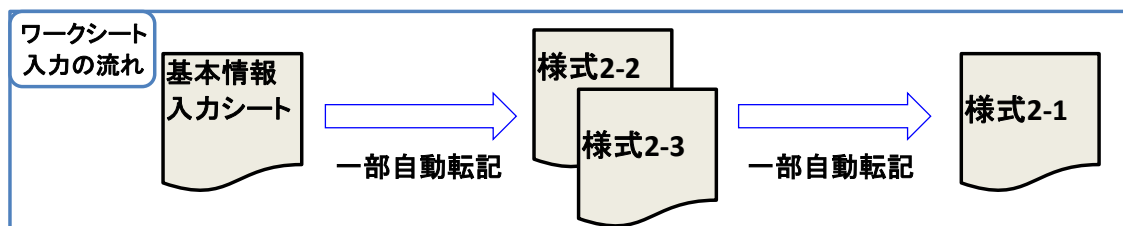


障害福祉サービス等処遇改善計画書の作成にあたっての入力シート等の説明

(福祉・介護職員処遇改善計画書、福祉・介護職員等特定処遇改善計画書)

令和4年度以降の処遇改善加算等を申請する場合の計画書の作成方法をご説明しています

ワークシート名 (左からの順)	枚数	ワークシートの 入力順番(推奨)	説明	提出の 必要性
はじめに	1	-	・本様式の内容と使い方を説明しています。	不要
基本情報入力シート	1	①	・法人の基本的な情報を入力することで、様式2へ自動的に転記が行われるため、こちらから入力してください。 ・本シートは提出不要です。	不要
様式2-1 計画書_総括表	1	③	・計画の概要と要件に関する情報を入力します。 ・具体的には、申請者情報・賃金改善計画の概要・キャリアパス要件・職場環境要件・見える化要件の5つです。 ・最後に入力してください。	提出
様式2-2 個表_処遇	1	②	・福祉・介護職員処遇改善加算について、事業所別の情報を入力します。 ・事業所ごとに新規・継続の別、加算区分、対象期間等を入力します。 ・基本情報入力シートの次に入力してください。	提出
様式2-3 個表_特定	1	②	・福祉・介護職員等特定処遇改善加算について、事業所別の情報を入力します。 ・事業所ごとに新規・継続の別、加算区分、対象期間、配置等要件、グループ別の職員の常勤換算人数等を入力します。 ・基本情報入力シートの次に入力してください。	提出
(参考) 補助金別紙様式2-1 補助金別紙様式2-2	-	-	・(参考)のシートは、処遇改善臨時特例交付金を取得する事業所のみを対象としています。加算の取得手続には必要ありませんが、加算と補助金について処遇改善計画書を一体的に作成できるよう、あわせてお示しするものです。	(別途、都道府県に提出)



【留意事項】

- ・原則、本様式を用いて計画書を作成してください。
- ・根拠資料は、保管の有無をチェックリストで確認することで原則提出不要です。
- ・複数事業所を一括して申請する際の指定権者別・都道府県別一覧表は不要です。
- ・「賃金改善の見込額」の比較対象となる年度は、「初めて加算を取得する(した)前年度」ではなく「(申請の)前年度」です。
- ・特定加算の平均賃金改善額についての計算方法は以下のとおりです。(下図参照)

	特定加算の平均賃金改善額の計算方法	
計画 作成	$\frac{\text{加算見込額}}{\text{前年度のグループ別の一月あたり常勤換算職員数}}$	$\times \text{事業所が定める配分比率(規程の範囲内)}$
実績 報告	$\frac{\text{当該年度(4～3月)のグループ別の賃金総額(※1)}}{\text{当該年度(4～3月)のグループ別の常勤換算職員数}}$	$\frac{\text{前年度(前年1～12月)のグループ別の賃金総額(※2)}}{\text{前年度(前年1～12月)の}}$

※1 特定加算の配分(賃金改善)に伴う法定福利費等の事業主負担の増加分を含むことができる。

※2 処遇改善加算等取得し実施される賃金改善及び各障害福祉サービス事業者等の独自の賃金改善額を除く。

【用語の省略等】

- 福祉・介護職員処遇改善加算⇒処遇改善加算
- 福祉・介護職員等特定処遇改善加算⇒特定加算
- 福祉・介護職員処遇改善加算、福祉・介護職員等特定処遇改善加算、福祉・介護職員処遇改善特別加算の総称⇒処遇改善加算等
- 福祉・介護職員処遇改善加算において対象となる職員⇒福祉・介護職員
- 福祉・介護職員処遇改善臨時特例交付金⇒処遇改善臨時特例交付金

【注意】本シートは様式作成用のため、提出は不要です。

・加算対象事業所に関する情報

処遇改善加算・特定加算・交付金の算定に共通して必要な情報	入力セル
処遇改善加算の算定に必要な情報(交付金取得には不要)	入力セル
特定加算の取得に必要な情報(交付金取得には不要)	入力セル
交付金の取得に必要な情報	入力セル

処遇改善加算・特定加算・処遇改善臨時特例交付金の届出に係る提出先(指定権者)の名称を入力してください。

加算提出先	名古屋市中区	交付金提出先	愛知県
-------	--------	--------	-----

⇒下表に必要事項を入力してください。記入内容が別紙様式2-1に反映されます。

法人名	フリガナ	シャカイフクシホウジシヨウコウフクシカイ
	名称	社会福祉法人光洋福祉会
法人住所	〒	4 6 3 - 0 0 0 3
	住所1(番地・住居番号まで)	名古屋市守山区大字下志段味字穴ヶ洞2266-250
	住所2(建物名等)	一粒荘
法人代表者	職名	理事長
	氏名	太田 功
書類作成担当者	フリガナ	ツボカワ カツノ
	氏名	坪川 覚宣
連絡先	電話番号	052-736-0571
	FAX番号	052-736-0572
	e-mail	hitotsubusou@dragon.email.ne.jp

下表に必要事項を入力してください。記入内容が別紙様式2-2及び別紙2-3に反映されます。

- ※1 「一月当たり障害福祉サービス等報酬総額(過改善加算及び特定加算を含む)」[円]には、「障害福祉サービス費等支払決定額内訳書」に基づき、前年1月から12月までの1年間のサービス別の報酬総額(過改善加算及び特定加算を含む)を、各種加減算を含む。)を12で除したものを(12ヶ月に満たない場合は、一月あたりの標準的な額として見込まれるもの)を記載すること。((a)は交付金の算入の要あり)
- ※2 「一月当たりの過改善加算等の総額[円]」には、前年1月から12月までの1年間の福祉・介護職員過改善加算等総額のお知らせ)に基づき、サービス別の過改善加算等の総額を12で除したものを(12ヶ月に満たない場合は、一月あたりの標準的な額として見込まれるもの)を記載すること。
- ※3 「一月当たり障害福祉サービス等報酬総額(過改善加算及び特定加算を除く)」[円]には、「障害福祉サービス費等支払決定額内訳書」に基づき、前年1月から12月までの1年間のサービス別の報酬総額を12で除したものを(12ヶ月に満たない場合は、一月あたりの標準的な額として見込まれるもの)を記載すること。((a)は加算の見込額算出に用いる。)

[illegible]

障害福祉サービス等処遇改善計画書(令和4年度)

(福祉・介護職員処遇改善計画書、福祉・介護職員等特定処遇改善計画書)

1 基本情報<共通>

フリガナ	シャカイフクシホウシニコウヨウフクシカイ					
法人名	社会福祉法人光洋福祉会					
法人所在地	〒 463-0003					
	名古屋市守山区大字下志段味字穴ヶ洞2266-250 一粒荘					
フリガナ	ツバカワ カナヲ					
書類作成担当者	坪川 寛宣					
連絡先	電話番号	052-736-0571	FAX番号	052-736-0572	E-mail	hitotsubusou@dragon.ema

【本計画書で提出する加算】 ※加算名をチェックすること。

☒ 福祉・介護職員処遇改善加算(処遇改善加算)

☒ 福祉・介護職員等特定処遇改善加算(特定加算)

2 賃金改善計画について<共通>

※本計画に記載された金額は見込額であり、提出後の運営状況(利用者数等)、人員配置状況(職員数等)その他の事由により変動があり得る。
※本様式のオレンジセルでは下記の要件を確認しており、セルが「○」でない場合、加算の算定要件を満たしていない。
Ⅰ 福祉・介護職員の賃金改善の見込額が、処遇改善加算の算定見込額を上回ること
Ⅱ 福祉・介護職員その他の職員の賃金改善の見込額が、特定加算の算定見込額を上回ること

(1)福祉・介護職員処遇改善加算のみ計画する場合

① 算定する処遇改善加算の区分	※ 別紙様式2-2のとおり	
② 処遇改善加算の算定対象月		
③ 令和4年度処遇改善加算の見込額	19,251,072	円
④ 賃金改善の見込額(ⅰ-ⅱ)	(右欄の額は③欄の額を上回ること)	
ⅰ 処遇改善加算の算定により賃金改善を行った場合の福祉・介護職員の賃金の総額(見込額)		円
ⅱ 前年度の福祉・介護職員の賃金の総額(処遇改善加算等取得し実施される賃金改善額及び独自の賃金改善額を除く)【基準額1】(ア)-(イ)-(ウ)-(エ)		円
(ア)前年度の福祉・介護職員の賃金の総額		円
(イ)前年度の処遇改善加算の総額		円
(ウ)前年度の特定加算のうち福祉・介護職員に支給された額 (前年度に特定加算を算定していた場合のみ)		円
(エ)前年度の各障害福祉サービス事業者等の独自の賃金改善額		円
⑤ 賃金改善実施期間	令和 年 月 ~ 令和 年 月	

要件Ⅰ

【記入上の注意】

- 処遇改善加算のみの計画である場合は、以下の2(2)、(3)、(4)ロ、5の記載は不要である。
- (1)④ⅰ)の「処遇改善加算の算定により賃金改善を行った場合の福祉・介護職員の賃金の総額(見込額)」及びⅱ)(ア)の「前年度の福祉・介護職員の賃金の総額」には、福祉・介護職員処遇改善加算による賃金改善を行った場合の法定福利費等の事業主負担の増加分を含めることができ(1)④ⅰ)の「処遇改善加算の算定により賃金改善を行った場合の福祉・介護職員の賃金の総額(見込額)」には、特定加算、処遇改善臨時特例交付金及び令和4年度新加算(仮称)を取得し実施される賃金の改善見込額を除いた額を記載すること。(令和4年度新加算を取得する意向のある事業所は、(1)④ⅰ)の額には、令和4年10月から賃金改善実施期間の最終月(原則として令和5年3月)までの期間に同加算を取得し実施される賃金の改善見込額を除いた額を記載すること。その際、当該改善見込額は、1月あたりの交付金の平均見込額に、同加算を取得する月数を乗じることによって算出すること。)
※1月あたりの交付金の平均見込額は、(参考)交付金別紙様式2-1の「2 賃金改善計画について」①の額を、交付金の交付対象期間の月数で除した額とする。なお、交付金を取得せず、令和4年度新加算(仮称)を取得する意向のある事業所は、仮に交付金を取得する場合の1月あたりの交付金の平均見込額を算出すること。
- (1)④ⅱ)(イ)の「前年度の処遇改善加算の総額」及び(ウ)の「前年度の特定加算のうち福祉・介護職員に支給された額」は、都道府県国民健康保険団体連合会から通知される「福祉・介護職員処遇改善加算等総額のお知らせ」に基づき記載すること。(ただし、特定加算の額については、福祉・介護職員に支給された額のみを計上すること。)
- (1)④ⅱ)(エ)の「前年度の各障害福祉サービス事業者等の独自の賃金改善額」は、本計画書の提出の前年度における独自の賃金改善分(初めて処遇改善加算を取得した年度以降に新たにに行ったものに限る。)をいう。(処遇改善加算等に係るものを除く。)本欄に記載した賃金改善については、「(4)ハ 障害福祉サービス事業者等の独自の賃金改善」欄に支給額、方法等の具体的な賃金改善の内容を記載すること。

(2)福祉・介護職員処遇改善加算(特定加算も併せて計画する場合)

① 算定する処遇改善加算の区分	※ 別紙様式2-2のとおり		
② 処遇改善加算の算定対象月			
③ 令和 4 年度処遇改善加算の見込額	19,251,072	円	
④ 賃金改善の見込額(i-ii) (右欄の額は③欄の額を上回ること)	19,371,401	円	<-
i) 処遇改善加算の算定により賃金改善を行った場合の賃金の総額(見込額) (経験・技能のある障害福祉人材(A)と他の障害福祉人材(B)の総額)	188,509,747	円	
ii) 前年度の賃金の総額(処遇改善加算等を取得し実施される賃金改善額及び独自の賃金改善額を除く)【基準額1】(ア)-(イ)-(ウ)-(エ)	169,138,346	円	
(ア)前年度の経験・技能のある障害福祉人材(A)と他の障害福祉人材(B)の賃金の総額	193,905,013	円	
(イ)前年度の処遇改善加算の総額	19,231,966	円	
(ウ)前年度の特定加算の総額(その他の職種(C)に支給された額を除く)	5,084,137	円	
(エ)前年度の各障害福祉サービス事業者等の独自の賃金改善額	450,564	円	
⑤ 賃金改善実施期間	令和 4 年 4 月 ~ 令和 5 年 3 月		

要件 I



【記入上の注意】

- ・(2)④ i) の「処遇改善加算の算定により賃金改善を行った場合の賃金の総額(見込額)」及び④ ii) (ア)の「前年度の経験・技能のある障害福祉人材(A)と他の障害福祉人材(B)の賃金の総額」について、処遇改善加算における賃金改善対象職種はこれまでと変更は無いが、特定加算との兼ね合いにより便宜的に「経験・技能のある障害福祉人材(A)」と「他の障害福祉人材(B)」の賃金同士で比較するものとする。
- ・(2)④ i) の「処遇改善加算の算定により賃金改善を行った場合の賃金の総額(見込額)」及び④ ii) (ア)の「前年度の経験・技能のある障害福祉人材(A)と他の障害福祉人材(B)の賃金の総額」には、処遇改善加算による賃金改善を行った場合の法定福利費等の事業主負担の増加分を含めることができる。
- ・(2)④ i) の「処遇改善加算の算定により賃金改善を行った場合の賃金の総額(見込額)」には、特定加算、処遇改善臨時特例交付金及び令和4年度新加算を取得し実施される賃金の改善見込額を除いた額を記載すること。(令和4年度新加算を取得する意向のある事業所は、(1)④ i) の額には、令和4年10月から賃金改善実施期間の最終月(原則として令和5年3月)までの期間に同加算を取得し実施される賃金の改善見込額を除いた額を記載すること。その際、当該改善見込額は、1月あたりの交付金の平均見込額に、同加算を取得する月数を乗じることによって算出すること。)
※1月あたりの交付金の平均見込額は、(参考)交付金別紙様式2-1の「2 賃金改善計画について」①の額を、交付金の交付対象期間の月数で除した額とする。なお、交付金を取得せず、令和4年度新加算(仮称)を取得する意向のある事業所は、仮に交付金を取得する場合の1月あたりの交付金の平均見込額を算出すること。
- ・(2)④ ii) (イ)の「前年度の処遇改善加算の総額」及び(ウ)の「前年度の特定加算の総額」は、都道府県国民健康保険団体連合会から通知される「福祉・介護職員処遇改善加算等総額のお知らせ」に基づき記載すること。ただし、特定加算の加算額については、その他の職種(C)に支給された額を除くこと。
- ・(2)④ ii) (エ)の「前年度の各障害福祉サービス事業者等の独自の賃金改善額」は、本計画書の提出年度における独自の賃金改善分(初めて処遇改善加算を取得した年度以降に新たに行ったものに限る。)をいう。(処遇改善加算等に係るものを除く。)本欄に記載した賃金改善については、「(4)ハ 障害福祉サービス事業者等の独自の賃金改善」欄に支給額、方法等の具体的な賃金改善の内容を記載すること。

(3)福祉・介護職員等特定処遇改善加算

① 算定する特定加算の区分				
② 処遇改善加算の取得状況	※①、③ 別紙様式2-3のとおり、② 別紙2-2のとおり			
③ 特定加算の算定対象月				
④ 令和 4 年度特定加算の見込額(g)				5,102,556 円
⑤ 賃金改善の見込額(i-ii)	(右欄の額は④欄の額を上回ること)			5,159,261 円
i) 特定加算の算定により賃金改善を行った場合の賃金の総額(見込額)				178,732,654 円
ii) 前年度の賃金の総額(処遇改善加算等取得し実施される賃金改善額及び独自の賃金改善額を除く)【基準額2】(ア)-(イ)-(ウ)-(エ)				173,573,393 円
(ア)前年度の賃金の総額				199,196,356 円
(イ)前年度の処遇改善加算の総額				19,231,966 円
(ウ)前年度の特定加算の総額				5,147,310 円
(エ)前年度の各障害福祉サービス事業者等の独自の賃金改善額				1,243,687 円
⑥ 平均賃金改善額	経験・技能のある障害福祉人材(A)	他の障害福祉人材(B)	その他の職種(C)	
i) 前年度の賃金の総額(処遇改善加算等取得し実施される賃金改善額及び独自の賃金改善額を除く)(h)	85,200,745 円	83,937,922 円	4,434,726 円	
ii) 前年度の常勤換算職員数(i)	144.0 人	192.0 人	12.0 人	
iii) 前年度の一月当たりの常勤換算職員数(j)	12.0 人	16.0 人	1.0 人	
iv) 前年度のグループ毎の平均賃金額(月額)【基準額3】(h)/(i)	591,672 円	437,177 円	369,561 円	
v) グループ毎の平均賃金改善額(月額)(g)/(j)/(k)	☐ (A)のみ実施 (5,102,640 円)	35,435 円 (5,102,640 円)		
※予定している配分方法について選択すること。(いずれか1つ) ※当該年度の特定加算の見込額と前年度の一月当たりの常勤換算方法により算出した職員数から算出した一人当たり配分額(月額)。(括弧内はグループ毎に配分可能な加算総額(年額))	☐ (A)及び(B)を実施 (#DIV/0! 円)	#DIV/0! 円 (#DIV/0! 円)	#DIV/0! 円 (#DIV/0! 円)	
	☐ (A)(B)(C)全て実施 (#DIV/0! 円)	#DIV/0! 円 (#DIV/0! 円)	#DIV/0! 円 (#DIV/0! 円)	
	☒ 上記以外の方法で実施 (5,157,888 円)	21,683 円 (3,122,352 円)	10,325 円 (1,982,400 円)	
			4,428 円 (53,136 円)	
月額平均8万円の賃金改善となる者又は改善後の賃金が年額440万円となる者 12 人(見込)				
(「月額平均8万円の賃金改善又は改善後の賃金が年額440万円以上となる者」を設定できない場合その理由)				
☐ 小規模事業所等で加算額全体が少額であるため。				
☐ 職員全体の賃金水準が低く、直ちに月額平均8万円等まで賃金を引き上げることが困難であるため。				
☐ 月額平均8万円等の賃金改善を行うに当たり、これまで以上に事業所内の階層や役職にある者に求められる能力や処遇を明確化することが必要であり、規程の整備や研修・実務経験の蓄積などに一定期間を要するため。				
☐ その他()				
⑦ 賃金改善実施期間(k)	令和 4 年 4 月 ~ 令和 5 年 3 月 (12 か月)			

【記入上の注意】

- (2)⑤ i) の「特定加算の算定により賃金改善を行った場合の賃金の総額(見込額)」には、特定加算による賃金改善に伴う法定福利費等の事業主負担の増加分を含めることができる。
- (2)⑤ i) の「特定加算の算定により賃金改善を行った場合の賃金の総額(見込額)」には、処遇改善加算、処遇改善臨時特例交付金及び令和4年度新加算を取得し実施される賃金改善額を除いた額を記載すること。(令和4年度新加算を取得する意向のある事業所は、(2)⑥ i) の額には、令和4年10月から賃金改善実施期間の最終月(原則として令和5年3月)までの期間に同加算を取得し実施される賃金の改善見込額を除いた額を記載すること。その際、当該改善見込額は、1月あたりの補助金の平均見込額に、同加算を取得する月数を乗じることによって算出すること。)
※1月あたりの交付金の平均見込額は、(参考)交付金別紙様式2-1の「2 賃金改善計画について」①の額を、交付金の交付対象期間の月数で除した額とする。なお、交付金を取得せず、令和4年度新加算(仮称)を取得する意向のある事業所は、仮に交付金を取得する場合の1月あたりの交付金の平均見込額を算出すること。
- (2)⑤ ii) (イ)の「前年度の処遇改善加算の総額」及び(ウ)の「前年度の特定加算の総額」は、都道府県国民健康保険団体連合会から通知される「福祉・介護職員処遇改善加算等総額のお知らせ」に基づき記載すること。
- (2)⑤ ii) (エ)の「前年度の各障害福祉サービス事業者等の独自の賃金改善額」は、本計画書の提出年度における独自の賃金改善分(初めて処遇改善加算を取得した年度以降に新たにを行ったものに限る。)をいう。(処遇改善加算等に係るものを除く。)本欄に記載した賃金改善については、「(4)ハ 障害福祉サービス事業者等の独自の賃金改善」欄に支給額、方法等の具体的な賃金改善の内容を記載すること。
- (2)⑥ i) の「前年度の賃金の総額(処遇改善加算等取得し実施される賃金改善額及び独自の賃金改善額を除く)」には、一括申請を行う場合については、原則として、前年1月から12月までの賃金の総額を記載すること。ただし、「その他の職種(C)」には、賃金改善前の賃金が既に年額440万円を上回る職員の賃金を含まないこと。
- (2)⑥ iii) の「前年度の一月当たりの常勤換算職員数」には、一括申請を行う場合については、原則として、本計画書を提出する前月の常勤換算方法により算出した職員数を記載すること。ただし、「その他の職種(C)」については、実人数によることもできる。

(4)賃金改善を行う賃金項目及び方法

イ 福祉・介護職員処遇改善加算

※前年度に提出した計画書の記載内容から変更がない場合は「変更なし」にチェック(✓) ☒ 変更なし

賃金改善を行う給与の種類	☒ 基本給	☐ 手当(新設)	☒ 手当(既存の増額)	☐ 賞与	☐ その他
具体的な取組内容	(当該事業所における賃金改善の内容の根拠となる規則・規程) ☐ 就業規則の見直し ☒ 賃金規程の見直し ☐ その他 () (賃金改善に関する規定内容)				
	給与等支給規程第18条に定める昇給の実施及び第14条に定める特別手当(処遇改善手当)の支給。 昇給平均月額26,755円、特別手当平均月額33,021円の改善。 当該平均賃金改善額は見込みかつ全体の平均で、法定福利費等の増加分も含み、税引前であるため、実際の個々人の手取り額とは必ずしも一致しない。				
	※上記の根拠規程のうち、賃金改善に関する部分を記載すること。 ※前年度に提出した計画書から変更がある場合には、変更箇所を下線とするなど明確にすること。				
	(上記取組の開始時期) 平成 24 年 4 月 (☒ 実施済 ☐ 予定)				

ロ 福祉・介護職員等特定処遇改善加算

※前年度に提出した計画書の記載内容から変更がない場合は「変更なし」にチェック(✓) ☒ 変更なし

経験・技能のある障害福祉人材の考え方	次の条件を満たす職員を「経験・技能のある障害福祉人材」とする。 ・サービス管理責任者として勤続10年以上の者 ・福祉・介護職員のうち介護福祉士、社会福祉士、精神保健福祉士、保育士のいずれかの資格を有する者で勤続10年以上の者 ※勤続年数については、他法人等における実務経験も含む。 ※国通知のとおり、職員分類の変更特例は行わない。				
賃金改善を行う職員の範囲	☒ (A)経験・技能のある障害福祉人材 ☒ (B)他の障害福祉人材 ☒ (C)その他の職種 (A)にチェック(✓)がない場合その理由				
賃金改善を行う給与の種類	☐ 基本給	☐ 手当(新設)	☒ 手当(既存の増額)	☐ 賞与	☐ その他
具体的な取組内容	(当該事業所において賃金改善内容の根拠となる規則・規程) ☐ 就業規則の見直し ☒ 賃金規程の見直し ☐ その他 () (賃金改善に関する規定内容)				
	給与規程第14条に定める特別手当(処遇改善手当)の支給。 (A)平均月額21,683円、(B)平均月額10,325円、(C)平均月額4,428円の改善。 当該平均賃金改善額は見込みかつ全体の平均で、法定福利費等の増加分も含み、税引前であるため、実際の個々人の手取り額とは必ずしも一致しない。				
	※上記の根拠規程のうち、賃金改善に関する部分を記載すること。 資格・手当等に含めて賃金改善を行う場合は、その旨を記載すること。 ※前年度に提出した計画書から変更がある場合には、変更箇所を下線とするなど明確にすること。				
	(上記取組の開始時期) 令和 1 年 10 月 (☒ 実施済 ☐ 予定)				

ハ 各障害福祉サービス事業者等による処遇改善加算、特定加算の配分を除く独自の賃金改善

「(1)④ii)(エ)」、「(2)④ii)(エ)」又は「(3)⑤ii)(エ)」の「前年度の各障害福祉サービス事業者等の独自の賃金改善額」に計上する場合は記載

独自の賃金改善の具体的な取組内容	(2)④ii)(エ) 福祉・介護処遇改善加算対象外のサービス管理責任者にも障害福祉人材と同等の改善を行っている。 (3)⑤ii)(エ) 福祉・介護処遇改善加算対象外のサービス管理責任者及びその他の職種にも障害福祉人材と同等の改善を行っている。
独自の賃金改善額の算定根拠	給与規程第14条に定める特別手当(福祉・介護処遇改善加算に係る特別手当)は全職種に支給。

3 キャリアパス要件について＜処遇改善加算＞

※前年度に提出した計画書の記載内容から変更がない場合は「変更なし」にチェック(✓) ☒ 変更なし

次の要件について該当するものにチェック(✓)し、必要事項を具体的に記載すること。

キャリアパス要件Ⅰ 次のイからハまでのすべての基準を満たす。		加算Ⅰ・Ⅱの場合は必ず「該当」 ☒ 該当 ☐ 非該当
イ	福祉・介護職員の任用における職位、職責又は職務内容等の要件を定めている。	
ロ	イに掲げる職位、職責又は職務内容等に応じた賃金体系を定めている。	
ハ イ、ロについて、就業規則等の明確な根拠規定を書面で整備し、全ての福祉・介護職員に周知している。		

キャリアパス要件Ⅱ 次のイとロ両方の基準を満たす。		加算Ⅰ・Ⅱの場合は必ず「該当」 ☒ 該当 ☐ 非該当
イ	福祉・介護職員の職務内容等を踏まえ、福祉・介護職員と意見交換しながら、資質向上の目標及び①、②に関する具体的な計画を策定し、研修の実施又は研修の機会を確保している。	
	☐ ① イの実現のための具体的な取組内容 (該当する項目にチェック(✓)した上で、具体的な内容を記載)	資質向上のための計画に沿って、研修機会の提供又は技術指導等を実施するとともに、福祉・介護職員の能力評価を行う。 ※当該取組の内容について下記に記載すること
	☒ ②	資格取得のための支援の実施 ※当該取組の内容について下記に記載すること
ロ イについて、全ての福祉・介護職員に周知している。		

キャリアパス要件Ⅲ 次のイとロ両方の基準を満たす。		加算Ⅰの場合は必ず「該当」 ☒ 該当 ☐ 非該当
イ	福祉・介護職員について、経験若しくは資格等に応じて昇給する仕組み又は一定の基準に基づき定期に昇給を判定する仕組みを設けている。	
	☒ ① 具体的な仕組みの内容(該当するもの全てにチェック(✓)すること。)	経験に応じて昇給する仕組み ※「勤続年数」や「経験年数」などに応じて昇給する仕組みを指す。
	☐ ②	資格等に応じて昇給する仕組み ※「介護福祉士」や「実務者研修修了者」などの取得に応じて昇給する仕組みを指す。ただし、介護福祉士資格を有して就業する者についても昇給が図られる仕組みであることを要する。
	☐ ③	一定の基準に基づき定期に昇給を判定する仕組み ※「実技試験」や「人事評価」などの結果に基づき昇給する仕組みを指す。ただし、客観的な評価基準や昇給条件が明文化されていることを要する。
ロ イについて、全ての福祉・介護職員に周知している。		

※要件Ⅲを満たす(加算Ⅰを算定する)場合、昇給する仕組みを具体的に記載している就業規則等について、指定権者からの求めがあった場合には速やかに提出できるよう、適切に保管すること。

4 職場環境等要件について＜共通＞

※前年度に提出した計画書の記載内容から変更がない場合は「変更なし」にチェック(✓) ☒ 変更なし

【処遇改善加算】

届出に係る計画の期間中に実施する事項について、全体で必ず1つ以上にチェック(✓)すること。ただし、記載するに当たっては、選択したキャリアパスに関する要件で求められている事項と重複する事項を記載しないこと。

【特定加算】

届出に係る計画の期間中に実施する事項について、必ず全てにチェック(✓)すること。複数の取組を行い、「入職促進に向けた取組」、「資質の向上やキャリアアップに向けた支援」、「両立支援・多様な働き方の推進」、「腰痛を含む心身の健康管理」、「生産性向上のための業務改善の取組」及び「やりがい・働きがいの構成」の6つの区分から任意で3つの区分を選択し、選択した区分でそれぞれ1つ以上の取組を行うこと。なお、処遇改善加算と特定加算とで、別の取組を行うことは要しない。

※ 前年度から引き続き加算を算定する場合であり、かつ、前年度に職場環境等要件を満たす取組実績がある事業所において、合理的な理由により当該期間中の実施が困難と見込まれる場合は、当該理由を明記することで、例外的に要件を充たしているものとして差し支えない。なお、その場合であっても、できる限り実施に努めることとする。

分類	内容		
入職促進に向けた取組	☐	法人や事業所の経営理念や支援方針・人材育成方針、その実現のための施策・仕組みなどの明確化	
	☐	事業者の共同による採用・人事ローテーション・研修のための制度構築	
	☐	他産業からの転職者、主婦層、中高年齢者等、経験者・有資格者にこだわらない幅広い採用の仕組みの構築	
	☐	職業体験の受入れや地域行事への参加や主催等による職業魅力向上の取組の実施	
資質の向上やキャリアアップに向けた支援	☒	働きながら介護福祉士等の取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い支援技術を取得しようとする者に対する喀痰吸引研修、強度行動障害支援者養成研修、サービス提供責任者研修、中堅職員に対するマネジメント研修の受講支援等	
	☒	研修の受講やキャリア段位制度と人事考課との連動	
	☐	エルダー・メンター(仕事やメンタル面のサポート等をする担当者)制度等の導入	
	☐	上位者・担当者等によるキャリア面談など、キャリアアップ等に関する定期的な相談の機会の確保	
両立支援・多様な働き方の推進	☐	子育てや家族等の介護等と仕事の両立を目指すための休業制度等の充実、事業所内託児施設の整備	
	☒	職員の事情等の状況に応じた勤務シフトや短時間正規職員制度の導入、職員の希望に即した非正規職員が正規職員への転換の制度等の整備	
	☐	有給休暇が取得しやすい環境の整備	
	☐	業務や福利厚生制度、メンタルヘルス等の職員相談窓口の設置等相談体制の充実	
	☐	障害を有する者でも働きやすい職場環境の構築や勤務シフトの配慮	
腰痛を含む心身の健康管理	☒	福祉・介護職員の身体の負担軽減のための介護技術の修得支援、介護ロボットやリフト等の介護機器等の導入及び研修等による腰痛対策の実施	
	☐	短時間勤務労働者等も受診可能な健康診断・ストレスチェックや、従業者のための休憩室の設置等健康管理対策の実施	
	☐	雇用管理改善のための管理者に対する研修等の実施	
	☐	事故・トラブルへの対応マニュアル等の作成等の体制の整備	
生産性向上のための業務改善の取組	☐	タブレット端末やインカム等のICT活用や見守り機器等の介護ロボットやセンサー等の導入による業務量の縮減	
	☐	高齢者の活躍(居室やフロア等の掃除、食事の配膳、下膳などのほか、経理や労務、広報なども含めた介護業務以外の業務の提供)等による役割分担の明確化	
	☐	5S活動(業務管理の手法の1つ。整理・整頓・清掃・清潔・躰の頭文字をとったもの)等の実践による職場環境の整備	
	☒	業務手順書の作成や、記録・報告様式の工夫等による情報共有や作業負担の軽減	
やりがい・働きがいの構成	☒	ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の福祉・介護職員の気づきを踏まえた勤務環境や支援内容の改善	
	☐	地域包括ケアの一員としてのモチベーション向上に資する、地域の児童・生徒や住民との交流の実施	
	☐	利用者本位の支援方針など障害福祉や法人の理念等を定期的に学ぶ機会の提供	
	☐	支援の好事例や、利用者やその家族からの謝意等の情報を共有する機会の提供	
合理的な理由により期間中の実施が困難な場合 ※ 上記のうち、前年度に取組実績がある項目にチェック(✓)すること。		☐	理由:

5 見える化要件について＜特定加算＞

※ 職場環境等要件の変更に伴う情報公表システムの改修を予定していることから、令和3年度及び4年度は算定要件としない。

※前年度に提出した計画書の記載内容から変更がない場合は「変更なし」にチェック(✓) ☒ 変更なし

実施している周知方法について、チェック(✓)すること。

ホームページへの掲載	☒	「障害福祉サービス等情報公表検索サイト」への掲載	/	☒	掲載予定
	☒	自社のホームページに掲載	/	☒	掲載予定
その他の方法による掲示等	☐	事業所・施設の建物で、外部から見える場所への掲示	/	☐	掲載予定
	☐	その他()	/	☐	予定

6 届出に係る根拠資料について＜共通＞

以下の点を確認し、全ての項目にチェックして下さい。

確認項目	証明する資料の例
☒ 加算相当額を適切に配分するための賃金改善ルールを定めました。	就業規則、給与規程
☒ 処遇改善加算として給付される額は、職員の賃金改善のために全額支出します。	給与明細
☒ 加算対象となる職員の勤務体制及び資格要件を確認しました。	勤務体制表、介護福祉士登録証等
☒ キャリアパス要件Ⅱの資質向上の目標及び具体的な計画を定めました。	資質向上のための計画
☒ 労働基準法、労働災害補償保険法、最低賃金法、労働安全衛生法、雇用保険法その他の労働に関する法令に違反し、罰金以上の刑に処せられていません。	—
☒ 労働保険料の納付が適正に行われています。	労働保険関係成立届、確定保険料申告書
☒ 本計画書の内容を雇用する全ての職員に対して周知しました。	会議録、周知文書

※ 各証明資料は、指定権者からの求めがあった場合には、速やかに提出すること。
※ 本表への虚偽記載の他、福祉・介護職員処遇改善加算及び福祉・介護職員等特定処遇改善加算の請求に関して不正があった場合は、介護給付費等の返還や事業所の指定取消となる場合がある。

計画書の記載内容に虚偽がないことを証明するとともに、記載内容を証明する資料を適切に保管していることを誓約します。

令和4年4月14日

法人名 社会福祉法人光洋福祉会
代表者 職名 理事長 氏名 太田 功

別紙様式2ー2 福祉・介護職員処遇改善計画書(施設・事業所別個表)

法人名	社会福祉法人光洋福祉会
-----	-------------

福祉・介護職員処遇改善加算額(見込額)の合計[円]	19,251,072
---------------------------	------------

障害福祉サービス等 事業所番号											指定権者名	事業所の所在地		事業所名	サービス名	一月あたり(処 遇改善加算等 を除いた)障害 福祉サービス等 報酬総額[円](a)	(1)福祉・介護職員処遇改善加算												福祉・介護職 員処遇改善加 算の見込額 (a×b×c) [円]
												都道府県	市区町村				新規・継続の 別	① 算定する 福祉・介 護職員処 遇改善加 算の区分	加 算 率 (b)	② 算定対象月(c)						③			
1	2	3	1	7	6	0	0	4	3	1	名古屋市	愛知県	守山区	障害者支援施設一粒荘	障害者支援施設:生活介護	15,906,173	継続	加算Ⅰ	6.1%	令和4年4月	令和5年3月	(12ヶ月)	11,643,312						
2	2	3	1	7	6	0	0	4	3	1	名古屋市	愛知県	守山区	障害者支援施設一粒荘	短期入所	293,253	継続	加算Ⅰ	8.6%	令和4年4月	令和5年3月	(12ヶ月)	302,628						
3	2	3	1	7	6	0	0	4	3	1	名古屋市	愛知県	守山区	障害者支援施設一粒荘	施設入所支援	7,078,624	継続	加算Ⅰ	8.6%	令和4年4月	令和5年3月	(12ヶ月)	7,305,132						
4																				令和4年	令和5年	(ヶ月)							
5																				令和4年	令和5年	(ヶ月)							
6																				令和4年	令和5年	(ヶ月)							
7																				令和4年	令和5年	(ヶ月)							
8																				令和4年	令和5年	(ヶ月)							
9																				令和4年	令和5年	(ヶ月)							
10																				令和4年	令和5年	(ヶ月)							
11																				令和4年	令和5年	(ヶ月)							
12																				令和4年	令和5年	(ヶ月)							
13																				令和4年	令和5年	(ヶ月)							
14																				令和4年	令和5年	(ヶ月)							
15																				令和4年	令和5年	(ヶ月)							
16																				令和4年	令和5年	(ヶ月)							
17																				令和4年	令和5年	(ヶ月)							
18																				令和4年	令和5年	(ヶ月)							
19																				令和4年	令和5年	(ヶ月)							
20																				令和4年	令和5年	(ヶ月)							

法人名	社会福祉法人光洋福祉会
-----	-------------

福祉・介護職員等特定処遇改善加算額(見込額)の合計[円]	5,102,556
------------------------------	-----------

障害福祉サービス等 事業所番号											指定権者名	事業所の所在地		事業所名	サービス名	一月あたり(処 遇改善加算等 を除いた)障害 福祉サービス等 報酬総額[円](a)	(2)福祉・介護職員等特定処遇改善加算					(3)	(4)
												都道府県	市区町村				新規・ 継続 の別	(1) 算定する福 祉・介護職員 等特定処遇 改善加算の 区分	加 算 率 (d)	配置等要件	算定対象月(e)		
1	2	3	1	7	6	0	0	4	3	1	名古屋市	愛知県	守山区	障害者支援施設一粒荘	障害者支援施設:生活介護	15,906,173	継続	区分なし	1.7%	-	令和 4 年 4 月～令和 5 年 3 月 (12 ヶ月)	3,244,848	
2	2	3	1	7	6	0	0	4	3	1	名古屋市	愛知県	守山区	障害者支援施設一粒荘	短期入所	293,253	継続	区分なし	2.1%	-	令和 4 年 4 月～令和 5 年 3 月 (12 ヶ月)	73,896	
3	2	3	1	7	6	0	0	4	3	1	名古屋市	愛知県	守山区	障害者支援施設一粒荘	施設入所支援	7,078,624	継続	区分なし	2.1%	-	令和 4 年 4 月～令和 5 年 3 月 (12 ヶ月)	1,783,812	
4																			-	令和 年 月～令和 年 月 (ヶ月)			
5																			-	令和 年 月～令和 年 月 (ヶ月)			
6																			-	令和 年 月～令和 年 月 (ヶ月)			
7																			-	令和 年 月～令和 年 月 (ヶ月)			
8																			-	令和 年 月～令和 年 月 (ヶ月)			
9																			-	令和 年 月～令和 年 月 (ヶ月)			
10																			-	令和 年 月～令和 年 月 (ヶ月)			
11																			-	令和 年 月～令和 年 月 (ヶ月)			
12																			-	令和 年 月～令和 年 月 (ヶ月)			
13																			-	令和 年 月～令和 年 月 (ヶ月)			
14																			-	令和 年 月～令和 年 月 (ヶ月)			
15																			-	令和 年 月～令和 年 月 (ヶ月)			
16																			-	令和 年 月～令和 年 月 (ヶ月)			
17																			-	令和 年 月～令和 年 月 (ヶ月)			
18																			-	令和 年 月～令和 年 月 (ヶ月)			
19																			-	令和 年 月～令和 年 月 (ヶ月)			
20																			-	令和 年 月～令和 年 月 (ヶ月)			

福祉・介護職員処遇改善臨時特例交付金計画書

1 基本情報

フリガナ	シャカイフクシホウジンコウヨウフクシカイ					
法人名	社会福祉法人光洋福祉会					
法人所在地	〒 463-0003					
	名古屋市守山区大字下志段味字穴ヶ洞2266-250 一粒荘					
フリガナ	ツボカワ カクノ					
書類作成担当者	坪川 覚宣					
連絡先	電話番号	052-736-0571	FAX番号	052-736-0572	E-mail	hitotsubusou@dragon.email

2 賃金改善計画について

※本計画に記載された金額は見込額であり、提出後の運営状況(利用者数等)、人員配置状況(職員数等)その他の事由により変動があり得る。

※本様式では下記の要件を確認しており、オレンジセル3カ所が「○」でない場合、交付金の交付要件を満たしていない。

I 交付金による賃金改善を行う総額が交付金による収入額を上回ること

II 賃金改善の合計額の3分の2以上は、基本給又は決まって毎月支払われる手当の引上げに充てること

①福祉・介護職員処遇改善臨時特例交付金の見込額(k)				3,202,144	円	要件 I ○
②賃金改善の見込額(i - ii)(右欄の額は①欄の額を上回ること)				3,224,261	円	
i) 賃金改善実施期間(④)に交付金により賃金改善を行う場合の福祉・介護職員等の賃金の総額(見込額)				177,528,945	円	
ii) 前年度(賃金改善実施期間に相当する期間)の福祉・介護職員等の賃金の総額【基準額】				174,304,684	円	
③ベースアップ等による賃金改善の見込額						
i) 福祉・介護職員の賃金改善見込額(i - 1)	(うち、ベースアップ等による賃金改善の見込額(i - 2))		2,246,187	円	(86.48) %	要件 II ○
		(一月あたり)	1,942,501	円		
		(一月あたり)	242812.625	円		
ii) その他の職員の賃金改善見込額(j - 1)	(うち、ベースアップ等による賃金改善の見込額(j - 2))		978,075	円	(86.02) %	○
		(一月あたり)	841,343	円		
		(一月あたり)	105167.875	円		
④ 交付金による賃金改善実施期間				令和4年 2 月 ~ 9 月		

【記入上の注意】

- ② i) 「賃金改善実施期間に交付金により賃金改善を行う場合の福祉・介護職員等の賃金の総額(見込額)」には、交付金による賃金改善を行った場合の法定福利費等の事業主負担の増加分を含めることができる。
- ② i) 及び ② ii) 「令和3年における賃金改善実施期間に相当する期間の福祉・介護職員等の賃金の総額」には、処遇改善加算及び特定加算を取得し実施される賃金の改善(見込)額を含む額を記載すること。

3 福祉・介護職員処遇改善臨時特例交付金により賃金改善を行う賃金項目及び方法

賃金改善を行う給与の種類	ベースアップ等	☐ 基本給	☐ 決まって毎月支払われる手当(新設)	☒ 決まって毎月支払われる手当(既存の増額)	
	その他	☐ 手当(新設)	☐ 手当(既存の増額)	☒ 賞与	☐ その他 ()
具体的な取組内容	(当該事業所における賃金改善の内容の根拠となる規則・規程)				
	☐ 就業規則の見直し ☒ 賃金規程の見直し ☐ その他 ()				
	(賃金改善に関する規定内容) ※上記の根拠規程のうち、賃金改善に関する部分を記載すること。				
(特別手当) 第14条 特別手当は、年末年始等特別な勤務体制を組み従事する職員に対して、その特別性に応じて別表8に定める額を支給する。 2 福祉・介護職員処遇改善加算等の算定期間中に限り、同計画書に基づく特別手当を支給し、対象期間に勤務した職員に対して、別表9に定める月額を給料又は期末勤勉手当と併せて支給する。					

以下の点を確認し、全ての項目にチェックして下さい。

確認項目	証明する資料の例
☒ 令和4年2月から賃金改善を実施しています。	—
☒ 令和4年2月サービス提供分について福祉・介護職員処遇改善加算(Ⅰ)、(Ⅱ)又は(Ⅲ)を届出しています。	—
☒ 交付金相当額を適切に配分するための賃金改善ルールを定めました。	就業規則、給与規程
☒ 交付金として給付される額は、職員の賃金改善のために全額支出します。	給与明細
☒ 交付金の対象となる職員の勤務体制及び資格要件を確認しました。	勤務体制表
☒ 労働基準法、労働災害補償保険法、最低賃金法、労働安全衛生法、雇用保険法その他の労働に関する法令に違反し、罰金以上の刑に処せられていません。	—
☒ 労働保険料の納付が適正に行われています。	労働保険関係成立届、確定保険料申告書
☒ 本計画書の内容を雇用する全ての職員に対して周知しました。	会議録、周知文書

※ 各証明資料は、指定権者からの求めがあった場合には、速やかに提出すること。

※ 本表への虚偽記載の他、交付金の請求に関して不正があった場合は、交付金を返還することとなる場合がある。

計画書の記載内容に虚偽がないことを証明するとともに、記載内容を証明する資料を適切に保管していることを誓約します。

令和 4 年 4 月 日 法人名 社会福祉法人光洋福祉会
代表者 職名 理事長 氏名 太田 功

法人名

シャカイフクシホウジンコウヨウフクシカイ

2① 福祉・介護職員処遇改善臨時特例交付金額(見込額)の合計[円](k)

3,202,144

【記入上の注意】

- ・「交付金取得予定」には、交付金を取得する事業者は「○」を記入し、交付金を取得しない事業者は「×」を記入すること。
- ・処遇改善臨時特例交付金計画書は、現行の処遇改善加算等の計画書と同様、法人一括での作成が可能であり、法人全体で交付要件を満たしていれば足りること。
- ・(i-1)及び(j-1)には、「資金改善実施期間に補助金により資金改善を行う場合の福祉・介護職員等の資金の総額(見込額)」(2② i)と、「令和3年における資金改善実施期間に相当する期間の福祉・介護職員等の資金の総額」(2② ii)とを比較し、その差額を事業所ごとに記入すること。
- ・(i-2)及び(j-2)には、「3 福祉・介護職員処遇改善臨時特例交付金により資金改善を行う資金項目及び方法」に記載した具体的な取組に基づく資金改善の見込額を記載すること。

	交付金取得予定	障害福祉サービス等 事業所番号										指定権者名	事業所の所在地		事業所名	サービス名	算定する福祉・介護職員処遇改善加算の区分 (Ⅰ～Ⅲを算定しない事業所は交付金を取得できません)	一月あたり障害福祉サービス等報酬総額 【円】(f) (処遇改善加算及び特定加算の額を含みます)	交付率 (g)	交付対象月(h)	福祉・介護職員処遇改善臨時特例交付金				
													都道府県	市区町村							合計を(k)に表示		列ごとの合計が「2資金改善計画について」③に転記		
																					①福祉・介護職員処遇改善臨時特例交付金の見込額 (f×g×h) 【円】	(i-1) ③ i) 福祉・介護職員の賃金改善額 【円】	(i-2) ベースアップ等による賃金改善額【円】	(j-1) ③ ii) その他の職種の賃金改善額 【円】	(j-2) ベースアップ等による賃金改善額【円】
1	○	2	3	1	7	6	0	0	4	3	1	名古屋市	愛知県	守山区	障害者支援施設一粒荘	障害者支援施設:生活介護	I	17,185,603	1.1%	令和 4 年 2 月～令和 4 年 9 月 (8 ヶ月)	1,512,336	1,060,200	916,860	461,651	397,114
2	○	2	3	1	7	6	0	0	4	3	1	名古屋市	愛知県	守山区	障害者支援施設一粒荘	短期入所	I	323,802	2.6%	令和 4 年 2 月～令和 4 年 9 月 (8 ヶ月)	67,352	47,170	40,793	20,540	17,668
3	○	2	3	1	7	6	0	0	4	3	1	名古屋市	愛知県	守山区	障害者支援施設一粒荘	施設入所支援	I	7,800,252	2.6%	令和 4 年 2 月～令和 4 年 9 月 (8 ヶ月)	1,622,456	1,138,817	984,848	495,884	426,561
4																			令和 4 年 月～令和 4 年 月 (ヶ月)						
5																			令和 4 年 月～令和 4 年 月 (ヶ月)						
6																			令和 4 年 月～令和 4 年 月 (ヶ月)						
7																			令和 4 年 月～令和 4 年 月 (ヶ月)						
8																			令和 4 年 月～令和 4 年 月 (ヶ月)						
9																			令和 4 年 月～令和 4 年 月 (ヶ月)						
10																			令和 4 年 月～令和 4 年 月 (ヶ月)						
11																			令和 4 年 月～令和 4 年 月 (ヶ月)						
12																			令和 4 年 月～令和 4 年 月 (ヶ月)						
13																			令和 4 年 月～令和 4 年 月 (ヶ月)						
14																			令和 4 年 月～令和 4 年 月 (ヶ月)						
15																			令和 4 年 月～令和 4 年 月 (ヶ月)						
16																			令和 4 年 月～令和 4 年 月 (ヶ月)						
17																			令和 4 年 月～令和 4 年 月 (ヶ月)						
18																			令和 4 年 月～令和 4 年 月 (ヶ月)						
19																			令和 4 年 月～令和 4 年 月 (ヶ月)						
20																			令和 4 年 月～令和 4 年 月 (ヶ月)						

表1 加算算定対象サービス

サービス区分	福祉・介護職員処遇改善加算			福祉・介護職員等特定処遇改善加算			
	キャリアパス要件等の適合状況に応じた加算率			配置等要件に応じた加算率			配置等要件
	加算Ⅰ	加算Ⅱ	加算Ⅲ	特定加算Ⅰ	特定加算Ⅱ	区分なし	特定加算Ⅰ
居宅介護	27.4%	20.0%	11.1%	7.0%	5.5%	エラー	特定事業所加算
重度訪問介護	20.0%	14.6%	8.1%	7.0%	5.5%	エラー	特定事業所加算
同行援護	27.4%	20.0%	11.1%	7.0%	5.5%	エラー	特定事業所加算
行動援護	23.9%	17.5%	9.7%	7.0%	5.5%	エラー	特定事業所加算
重度障害者等包括支援	8.9%	6.5%	3.6%	エラー	エラー	6.1%	－
生活介護	4.4%	3.2%	1.8%	1.4%	1.3%	エラー	福祉専門職員配置等加算
施設入所支援	8.6%	6.3%	3.5%	エラー	エラー	2.1%	－
短期入所	8.6%	6.3%	3.5%	エラー	エラー	2.1%	－
療養介護	6.4%	4.7%	2.6%	2.1%	1.9%	エラー	福祉専門職員配置等加算
自立訓練(機能訓練)	6.7%	4.9%	2.7%	4.0%	3.6%	エラー	福祉専門職員配置等加算
自立訓練(生活訓練)	6.7%	4.9%	2.7%	4.0%	3.6%	エラー	福祉専門職員配置等加算
就労移行支援	6.4%	4.7%	2.6%	1.7%	1.5%	エラー	福祉専門職員配置等加算
就労継続支援A型	5.7%	4.1%	2.3%	1.7%	1.5%	エラー	福祉専門職員配置等加算
就労継続支援B型	5.4%	4.0%	2.2%	1.7%	1.5%	エラー	福祉専門職員配置等加算
共同生活援助(指定共同生活援助)	8.6%	6.3%	3.5%	1.9%	1.6%	エラー	福祉専門職員配置等加算
共同生活援助(日中サービス支援型)	8.6%	6.3%	3.5%	1.9%	1.6%	エラー	福祉専門職員配置等加算
共同生活援助(外部サービス利用型)	15.0%	11.0%	6.1%	1.9%	1.6%	エラー	福祉専門職員配置等加算
児童発達支援	8.1%	5.9%	3.3%	1.3%	1.0%	エラー	福祉専門職員配置等加算
医療型児童発達支援	12.6%	9.2%	5.1%	1.3%	1.0%	エラー	福祉専門職員配置等加算
放課後等デイサービス	8.4%	6.1%	3.4%	1.3%	1.0%	エラー	福祉専門職員配置等加算
居宅訪問型児童発達支援	8.1%	5.9%	3.3%	エラー	エラー	1.1%	－
保育所等訪問支援	8.1%	5.9%	3.3%	エラー	エラー	1.1%	－
福祉型障害児入所施設	9.9%	7.2%	4.0%	4.3%	3.9%	エラー	福祉専門職員配置等加算
医療型障害児入所施設	7.9%	5.8%	3.2%	4.3%	3.9%	エラー	福祉専門職員配置等加算
障害者支援施設:生活介護	6.1%	4.4%	2.5%	エラー	エラー	1.7%	－
障害者支援施設:自立訓練(機能訓練)	6.8%	5.0%	2.8%	エラー	エラー	2.6%	－
障害者支援施設:自立訓練(生活訓練)	6.8%	5.0%	2.8%	エラー	エラー	2.6%	－
障害者支援施設:就労移行支援	6.7%	4.9%	2.7%	エラー	エラー	1.8%	－
障害者支援施設:就労継続支援A型	6.5%	4.7%	2.6%	エラー	エラー	1.8%	－
障害者支援施設:就労継続支援B型	6.4%	4.7%	2.6%	エラー	エラー	1.8%	－